

2月に入り気温が20度を超える日もあり、この寒暖差に体が追いついていけません。また、花粉の飛散も始まったようですが、皆様は如何お過ごしでしょうか。

さて、昨年11月18日(土)の関プロ栃木大会では多くの皆様のご協力をいただき無事大会を終了することができました。深く感謝申し上げます。この後、大会報告書や会報とちの実において大会の様子をご紹介する予定ですので是非ご覧ください。ここではそれに関連した内容や実施した研修会等をご報告します。



## 関プロ栃木大会関連の報告

◇第4回実行委員会を2/15(木)福祉プラザ研修室において開催しました。内容は、大会の報告について大会参加者の状況や意見のまとめ、報告書の概要等を説明するとともに、大会で記録したビデオや写真を視聴していただきました。

(大会参加者の状況)

- ・参加者総数：464名(内来賓等20名)
- ・育成会大会参加者：374名
- ・本人会参加者：70名(内本人28名)

◇本人部会ひまわりの会では、ミニコンサートの発表の打ち上げとして2/25(土)ホテルニューイタヤにおいて昼食会を実施しました。講師の岡倉先生をはじめスタッフの方も参加され総勢20名で、ミニコンサートの発表のビデオを視聴したり、



食事をしたりして楽しいひと時を過ごすことが出来ました。この後、3/30(土)には福祉プラザにおいて次年度の計画を検討する予定です。

## 県育成会主催事業から

◇サポートファイルの出前授業

昨年に引き続き茂木町手をつなぐ親の会の全体研修会が2/8(木)保健福祉センター元気アップ館で開催されました。演題は「サポートファイル



Ⅱの作成方法と活用方法」について県育成会の尾花理事からの説明と記入体験でした。年金や成年後見など日頃から関心の高い内容で皆さん熱心に取り組んでいただきました。

## 相談会・研修会開催事業から

今年度の県委託事業の相談会・研修会を4地区4会場で実施することができました。実施に当たり、開催地区とも相談しながら育成会活動の課題となっている、障害者の意思決定支援、障害基礎年金、医療に関することなどについて講演会及び意見交換等を行いました。

★下野市では6/30(金)国分寺公民館において、成年期の障がいを持つ子供達をテーマにパネルディスカッションが行われました。詳細はかわら版33号に掲載

★大田原市では9/26(火)トコトコおおたわらにおいて、エルム福祉会の川上聖子氏から「障害者の意思決定支援～わたしの人生・わたしの思い～」と題してお話しや参加者との意見交換を通してわかりやすく学ばせていただきました。また、障害者同士の結婚や選挙投票の事例なども伺うことができました。

★真岡市では1/16(火)二宮コミュニティセンターにおいて、小島会長を講師に「障害者基礎年金の基本のき」について学習会を開催しました。また、座談会として相談支援専門員の佐藤直久氏を招いて年金受給の流れや診断書などについてお話を伺い、個別の質問などへもお応えいただき、今後の参考となる貴重な機会となりました。



★栃木市では2/16(金)皆川公民館において、小児科医の服部祐末氏と相談支援協働コーディネーターの大嶋奈央子氏を招いて「小児科から成人科への移行大作戦？」と題して講演をいただきました。また、参加された方からの意見にもお応えいただき、今後の参考となるお話をたくさん聞くことができました。



## ＝ 編集後記 ＝

今年度関プロ栃木大会もあり、かわら版は3回の発行になってしまいました。限られた情報提供ですがご覧いただいたの感想やご意見、ご要望など伺いたいと思っています。今後も身近な話題や関心事をお伝えできればと思っています。(事務局)